



2026年6月30日 No. 4

町田市立町田第五小学校
校長 米山 哲也



～体験的な学習を通して得られる力～

校長 米山 哲也

6月の学校公開では、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。また、水泳指導をはじめとする学校教育活動へも、多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月から6月にかけては、各学年で遠足や校外学習、社会科見学、宿泊学習といった「体験的な学習」が多く実施されました。子どもたちにとっては大変楽しい学校行事ですが、学校の教育課程（カリキュラム）においても、教室での学習に勝るとも劣らない極めて重要な役割をもっています。

教科書で学んだ知識は、実際に自分の目で見て、耳で聞いて、手で触れることで、初めて「生きた知識」へと変わります。例えば理科で学んだ植物の息吹をハイキングの中で実感したり、社会科で学んだ歴史遺産の圧倒的なスケールを肌で感じたりする経験が、「なぜだろう」「もっと知りたい」という知的好奇心を呼び起こし、主体的な学びの原動力へとつながるのです。特に宿泊学習においては、家族と離れ、仲間と寝食を共にして過ごす時間が大きな成長の機会となります。自分のことは自分で行い、限られた時間の中でスケジュールを意識して行動することで、集団における自分の役割を自覚したり、他者を思いやる心が磨かれたりします。

時に子どもたちは困難に出会うこともあるでしょうが、体験学習に「たった一つの正解」はありません。その困難に対して「どうすれば解決できるか」を仲間と考え、工夫するプロセスにこそ価値があるのです。スムーズに物事を進められることだけが成功ではなく、試行錯誤の末に得られた達成感こそが、子どもたちの自己肯定感を育みます。

学校の外へ踏み出す一歩は、子どもたちにとって未知の世界への冒険です。そこで得られる経験は、将来、彼らが困難に直面した際、それを乗り越えるための「心のレジリエンス（しなやかな強さ）」となって支えてくれることでしょう。

各ご家庭におかれましては、いつも学校行事に向けた準備や体調管理、ボランティア等でのご協力をいただき、心より御礼申し上げます。これからも、子どもたちが様々な体験を通して一回りも二回りも大きくなる姿を、どうぞ楽しみにしててください。

